HONDA
The Power of Dreams

Hondaナビゲーションシステム　取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズDVDナビコンポ

VXD-079C

オーディオ編

MAPCODE　COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　DVD ROM　VICS

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買いあげの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

※取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

安全に正しくお使いになるために

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示

お知らせ
操作に関するお知らせです。

アドバイス
使いこなすためのアドバイスです。

お願い
お車のために守っていただきたいことです。

● **製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。**

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

操作画面

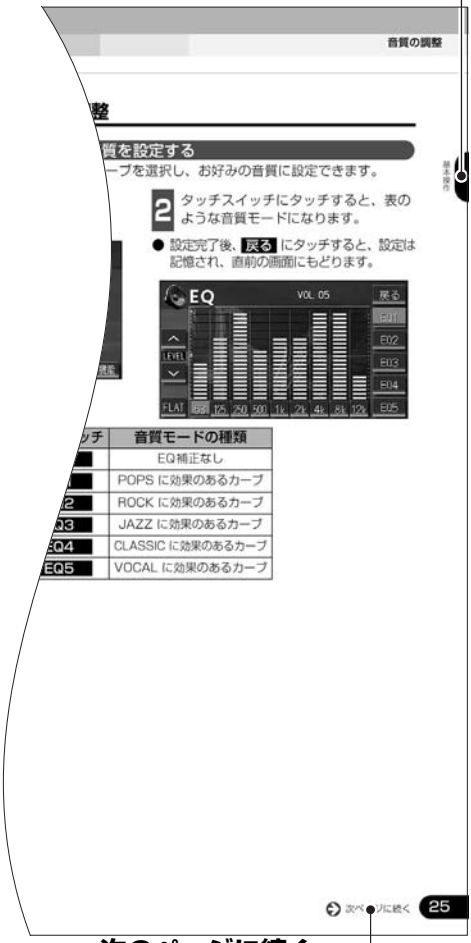
操作する画面を表示しています。

お知らせ

操作に関連することなどを記述しています。

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。



次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

タイトル目次

本のタイトル項目を順番に並べたものです。

知りたい操作目次

各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。
操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○ （ SOURCE ・ 表示 など）でスイッチ名称を表示しています。
画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○ でスイッチ名称を表示しています。
１つ前の画面にもどすときは、戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）
操作は全ての機能が有効である場合の画面で説明しています。

タイトル目次

はじめに

特長 14
ご使用になる前に 15
ディスクについて 16
液晶パネルについて 19
TVについて 19

基本操作

ソースの切り替え方 20
ソースを切り替える 20
操作画面の表示 20
各ソースの操作画面 21
音の調整 22
主音量の調整 22
操作音の設定 22
音質の調整 23
音質調整画面の表示 23
DSP（音場）の設定 24
DSP（音場）の調整、記憶 24
DSP（音場）レベルをリセットする 24
EQ（イコライザ）の調整 25
音質を設定する 25
EQ カーブの調整、記憶 26
EQカーブをリセットする 26
POS（ポジショニングセレクター）の調整 27
音量バランスの調整 28
LOUDNESSの設定 29
画面の調整・設定 30
画質調整画面の表示 30
ライト点灯時に昼画表示にするには 31
画面を消すときは 31
画質の調整 32
壁紙の設定 33
優先画面の設定 34
機能スイッチの表示切り替え 35
画面モード切り替え 36

ラジオの操作

ラジオの使い方 37
ラジオを聞く 37
聞きたい放送局を選ぶ 37
手動で選ぶ 37
自動で選ぶ 37
プリセットスイッチから選ぶ 37
放送局を記憶する 38
マニュアル（手動）で記憶する 38
AUTO.P（自動）で記憶する 38
AUTO.Pで記憶した放送局を変更する 38
エリアスイッチについて 39
交通情報を受信する 40
周波数を記憶させる 40
局名スイッチについて 40
ラジオを止める 40

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方 41
CDを聞く 41
聞きたい曲を選ぶ 41
早送り･早戻しする 42

聞きたい曲を探す 42
同じ曲を繰り返して聞く 42
曲の順番をランダムに聞く 42
CDを止める 42

TVの操作

TVの使い方 43
TVを見る 44
見たいチャンネルを選ぶ 44
手動で選ぶ 44
自動で選ぶ 44
プリセットスイッチから選ぶ 44
チャンネルを記憶する 44
マニュアル（手動）で記憶する 44
AUTO.P（自動）で記憶する 45
AUTO.Pで記憶した
チャンネルを変更する 45
TV設定画面の切り替え 46
エリアスイッチについて 46
局名スイッチについて 47
音声多重放送を切り替える 47
TVモードを終わる 47

VTRの操作

VTRの使い方 48
VTRを見る 48
VTR設定画面の切り替え 48
VTRモードを終わる 48

ご参考に

知っておいていただき
たいこと 49
こんなメッセージが
表示されたときは 49
故障とお考えになる前に 49
用語説明 51

画面・音の調整について

＜画面の調整に関して＞

■オーディオ操作画面やTVの画面を見やすくしたい

●オーディオ操作画面時

オーディオ画面などのコントラストや色合いなどを調整する方法について説明しています。

「画質調整画面の表示」.....P30

■操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

オーディオ操作画面などを継続して表示する、または自動でもとの画面にもどる設定について説明しています。

「優先画面の設定」.....P34

■画面を消したい

●オーディオ操作画面時

ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

「画面を消すときは」.....P31

■機能スイッチを表示したい

操作画面などで表示される機能スイッチの表示切り替えについて説明しています。

「機能スイッチの表示切り替え」.....P35

■壁紙を切り替えたい

壁紙の切り替え方法について説明しています。

「壁紙の設定」.....P33

■画面をワイドモードにしたい

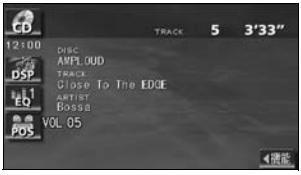
●ワイドモード切り替え画面

TVやVTRの画面表示サイズを切り替える方法について説明しています。

「画面モード切り替え」.....P36

＜音の調整に関して＞

■音量をかえたい



音量を調整する方法について説明しています。

「主音量の調整」.....P22

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

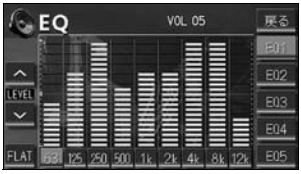
スイッチを押したときなどの操作音を設定する方法について説明しています。

「操作音の設定」.....P22

■音質をかえたい

●演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP（音場）の設定」.....P24



●イコライザを調整したい

「EQ（イコライザ）の調整」.....P25

●乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい

「POS（ポジショニングセレクター）の調整」.....P27

●前後左右の音量のバランスを調整したい

「音量バランスの調整」.....P28

●小音量時などにメリハリのある音にしたい

「LOUDNESSの設定」.....P29

オーディオ関係

＜ラジオの使い方について＞

■ラジオを聞きたい

ラジオを受信する方法について説明しています。

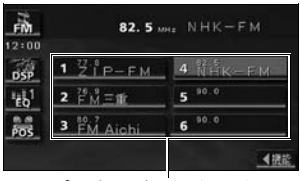
「ラジオを聞く」.....P37

■放送局を探したい

放送局の手動選局や、自動受信について説明しています。

「聞きたい放送局を選ぶ」.....P37

■放送局を記憶させたい



プリセットスイッチ

選局した放送局をプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「放送局を記憶する」.....P38

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局や周波数を表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」.....P39

＜CDプレーヤーの使い方について＞

■CDを聞きたい

CDを再生する方法や、聞きたいCDに切り替える方法について説明しています。

「CDを聞く」.....P41

■聞きたい曲を選びたい

次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」.....P41

■聞きたい曲が何番目に入っているかわからない

全曲の始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」.....P42

■いま聞いている曲を繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返して聞く」.....P42

■いつもと違う順番で聞きたい

CDの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」.....P42

TVについて

＜TVの使い方について＞

■TVを見たい

TVを受信する方法について説明しています。

「TVを見る」.....P44

■放送局を探したい

チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」.....P44

■放送局を記憶させたい

選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「チャンネルを記憶する」.....P44

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

TVの設定画面に切り替える方法について説明しています。

「TV設定画面の切り替え」.....P46

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..... P46

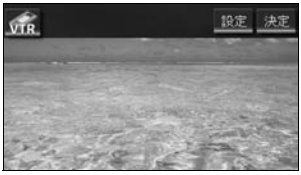
■今、聞いている音声を切り替えたい

主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」..... P47

VTRに関して

■VTRを使いたい



別売のVTRコードで市販のVTR機器を接続したときの操作方法について説明しています。

「VTRの使い方」..... P48

その他

＜わからなくてお困りのとき＞

■画面のメッセージがわからない

画面に表示されるメッセージの意味と、処置方法について説明しています。

「こんなメッセージが表示されたときは」..... P49

■故障かどうかわからない

本機が故障しているのかどうかわからないときに、症状と簡単な処置方法について説明しています。

「故障とお考えになる前に」..... P49

特長

お聞きになる音楽に合わせて調整できる音質調整 (23 ページ)

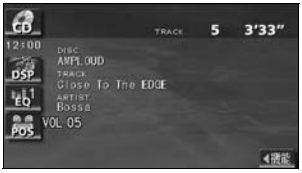
お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、音量のバランスや、低音・高音を調整することができます。

壁紙の切り替え (33 ページ)

情報画面や、オーディオ操作画面などの背景色をお好みの色に切り替えることができます。

CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生するCDプレーヤー (41 ページ)

CD-R、CD-RWに対応しており、パソコンなどで、自分だけのオリジナルディスクを作成し、本機で再生することができます。



旅先でも簡単に放送局を探し出すエリアプリセット機能 (39、46 ページ)

旅先など、放送局がわからない場所でも、その地域の放送局を表示、記憶することができます。一時的に記憶する機能なので、あらかじめ記憶させていた放送局もなくなりません。

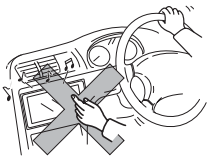
システムアップ

● **VTRコード** (48 ページ)
別売のVTRコードを接続すると、本機でビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

ご使用になる前に

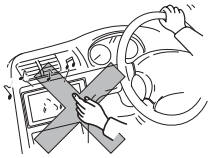
⚠注　意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



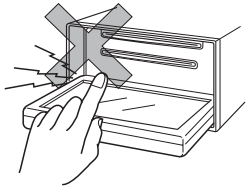
交通事故の原因となります。

走行中運転者はTVの操作を極力しないでください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

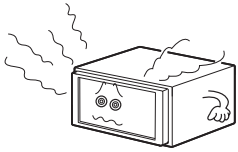
モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

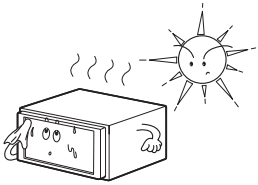
お願い

故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



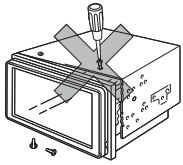
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



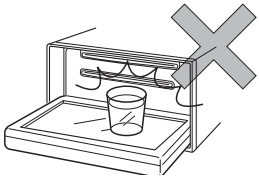
故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。



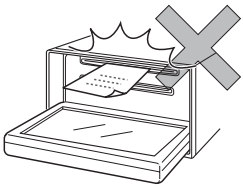
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。



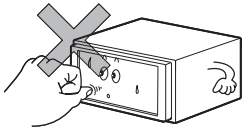
故障の原因となります。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。

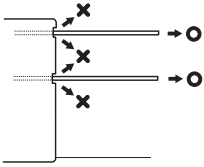


故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。



本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。

ご使用になる前に

ディスクについて

お願い

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用CDは下記のマークのついたディスクが使用できます。

- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- CD- R （CD- Recordable ）、CD- RW （CD- ReWritable ）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD- R 、CD- RW やUDF フォーマットで書き込みされた CD- R 、CD- RW は再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。

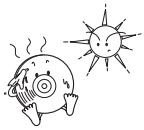
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。

- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSが混在のMixed Mode CDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。

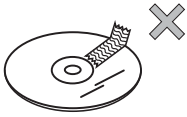
お願い

ディスクの取扱いについて

● ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



● 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



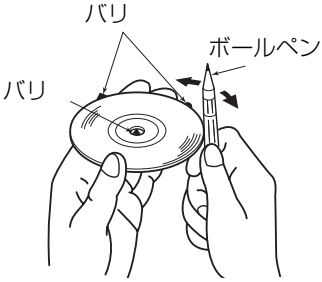
● ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

● 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

● 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

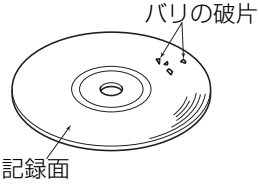
新しいディスクについて

● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



レンタルディスクについて

● ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

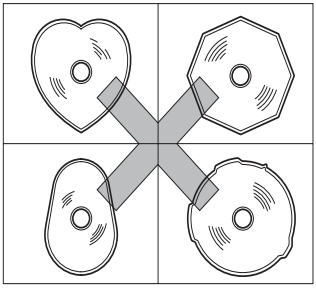


ご使用になる前に

お願い

特殊形状のディスクについて

● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

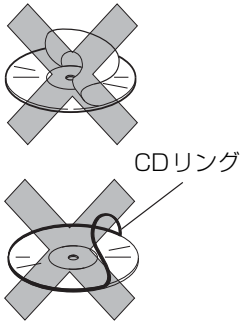


ディスクのアクセサリーについて

● 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

● 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CDリング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。

● 8cm CD を差し込むときはアダプタを使用しないでください。CD を取り出せなくなるおそれがあります。



液晶パネルについて

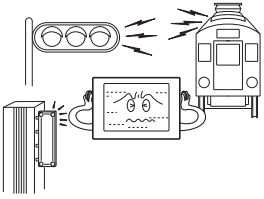
お知らせ

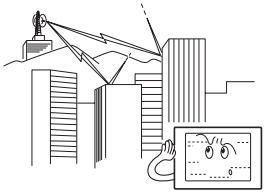
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて

お知らせ

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載 TV の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
  - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





ソースの切り替え方

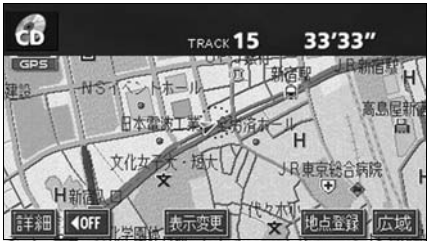
ソースを切り替える

■パネルスイッチから切り替える

1 SOURCE を押します。

2 ソースメニューのタッチスイッチにタッチします。

● タッチしたソースがスクリーン表示(オンスクリーン表示）されます。



●オンスクリーン画面

操作画面の表示

1 表示 を押します。

■タッチスイッチから切り替える

1 オーディオ操作画面、またはTV/VTR設定画面で、図の位置の SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

SOURCE MENU 呼び出しスイッチ

2 ソースメニューのタッチスイッチにタッチします。

● タッチしたソースの操作画面が表示されます。

● ◀ にタッチすると、もとの画面にもどります。

各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

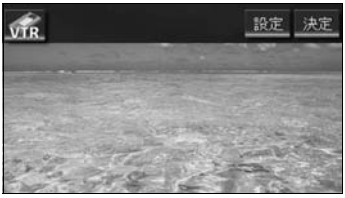
●AM操作画面

●FM操作画面

●CDプレーヤー操作画面

●TV 操作画面

●VTR 操作画面



「優先画面の設定」（34 ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20 秒以上（TV ・VTR 操作画面では約6 秒以上）操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

● 調整レベルは0～40です。
▲（上側）：音量UP（大きくなる）
▼（下側）：音量DOWN（小さくなる）

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 操作音設定の 1、2、3、4、OFF のいずれかにタッチします。

● OFF にタッチすると、操作音が解除（消音）になります。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

● 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
● ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。

音質の調整

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

音質調整画面の表示

音質の調整に各ソースの操作画面から行うものと、情報画面から行うものがあります。

タッチスイッチ・項目	機　能	画面	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、イメージに合った音場（演奏会場）を再現することができます。	操作画面	24
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	操作画面	25
POS	人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。	操作画面	27
FADER BALANCE	音量バランスを調整することができます。	操作画面	28
LOUDNESS	小音量時に低・高音を強調することができます。	情報画面	29

■操作画面からの設定

1 各オーディオ操作画面、または TV、VTR設定画面で、音質調整のタッチスイッチにタッチします。

● ＴＶ・ＶＴＲ操作画面では **設定** にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。

■情報画面からの設定

1 **情報** を押します。

2 **設定** にタッチします。

音質の調整

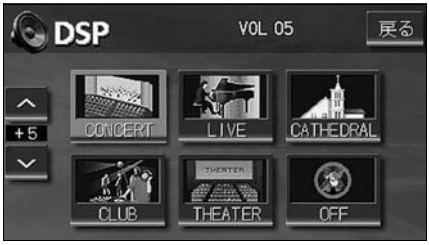
DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

1 DSP にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
CLUB	ディスコ、クラブ
THEATER	映画館・劇場
OFF	DSP OFF

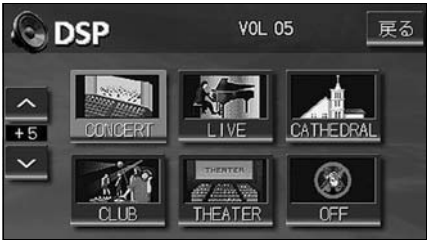
DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで画面左の ∧ 、∨ にタッチします。

● 調整レベルは－5～+5の11段階です。

2 調整した音場モードを“ピーッ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 OFF を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。

お知らせ

● DSP（音場）レベルを調整中に別の DSP（音場）モードに切り替えた場合、調整したレベルは記憶されません。

EQ（イコライザ）の調整

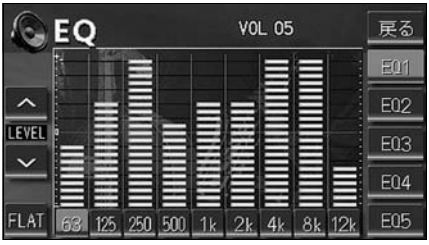
音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 EQ にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



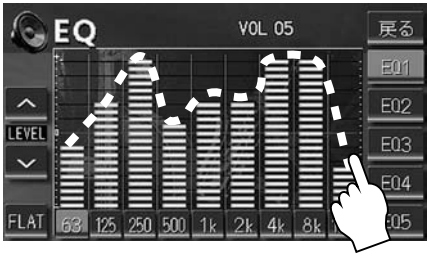
タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ 補正なし
EQ1	POPS に効果のあるカーブ
EQ2	ROCK に効果のあるカーブ
EQ3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ5	VOCAL に効果のあるカーブ

音質の調整

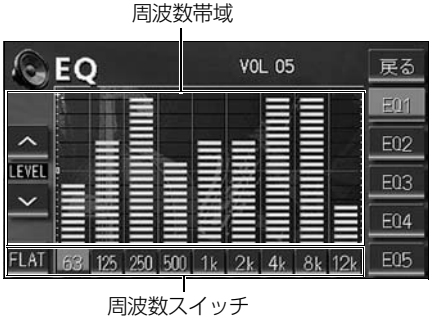
EQ カーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。

1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面にタッチします。



● 微調整するときは、調整したい周波数帯域にタッチする、または周波数スイッチにタッチし、画面左の ∧、∨ にタッチします。



2 記憶したいスイッチ EQ1 ～ EQ5 を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● イコライザカーブが初期値にリセットされます。

お知らせ

微調整時に ∧、∨ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ∧、∨ にタッチしてください。

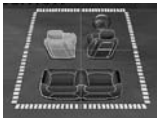
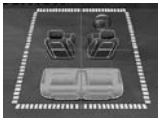
POS（ポジショニングセレクター）の調整

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。
各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 POS にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは水色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4 つのポジションに設定できます。
- OFF にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を 中心にした音場		前席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場

お知らせ

POS（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

音質の調整

音量バランスの調整

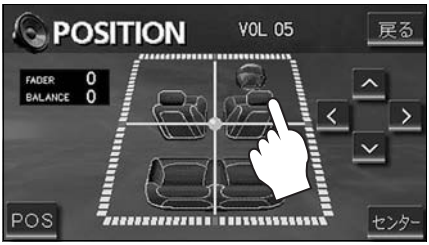
前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 POS にタッチします。

2 FADER BALANCE にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、∧、∨、<、または > にタッチします。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- センター にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。（設定値が0になります。）



お知らせ

- FADER BALANCE（音量バランス）は、POS（ポジショニングセレクター）と同時に設定できません。
- 微調整時に ∧、∨、<、または > にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度 ∧、∨、<、または > にタッチしてください。

LOUDNESSの設定

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 LOUDNESSの ON 、または OFF にタッチします。

● 設定完了後、設定完了 にタッチすると、設定が記憶されます。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV 、VTR などの画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV 、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞

●昼画表示＜ライト消灯時＞

●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・VTR画面＞

●昼画表示＜ライト消灯時＞

●夜画表示＜ライト点灯時＞

1 オーディオの操作画面、またはTV、VTR画面で **画面** を押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。

●オーディオ操作画面時

●TV・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

●オーディオ操作画面時

●TV・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには、**現在地** を押します。

お知らせ

「優先画面の設定」（34 ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。
（ **画面消** にタッチした状態にもどります。）

画面の調整・設定

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

●オーディオ操作画面時

●TV・VTR画面時

■色合い（TV・VTR画面時のみ）

1 緑色を強くするときは **緑** 、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ（TV・VTR画面時のみ）

1 濃くするときは **濃** 、淡くするときは **淡** にタッチします。

■コントラスト

1 強くするときは **強** 、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは **明** 、暗くするときは **暗** にタッチします。

壁紙の設定

情報画面やオーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 壁紙の 1 、2 、3 、4 のいずれかにタッチします。

4 設定完了 にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

情報画面、オーディオ ・TV ・VTR 操作画面を表示させて、約20 秒以上操作しなかったとき、「自動解除」（もとの画面にもどる）、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 優先画面設定の 自動解除 、または 継続表示 にタッチします。

● 各画面を継続して表示させるには 継続表示 にタッチしてください。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

優先画面設定を 自動解除 に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。オーディオ操作画面を表示させる場合は、 表示 を押してください。また、ACC をOFF からON にしたときに、オーディオ画面を表示させる場合も、同様に 表示 を押してください。

機能スイッチの表示切り替え

オーディオ操作画面やTV設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

1 ◀機能 にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各ソースによって違います。

- ▶機能 にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチは消えます。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。

画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 TV・VTR設定画面で、
ワイドモード にタッチします。

● ワイドモード切り替え画面になります。

● **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

TV　：操作画面で、**設定** 、**◀機能** の順にタッチ

VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

2 **標準** 、**ワイド1** 、**ワイド2** 、または **ワイド3** にタッチします。

● ワイドモードを選択します。

●ワイドモード切り替え画面

■標準画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

■ワイド1画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

■ワイド2画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。

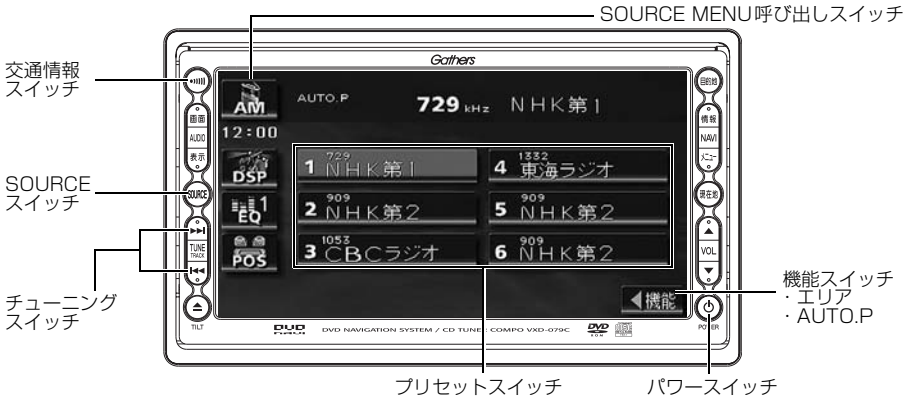
■ワイド3画モード
たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

● ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

⚠注　意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 AMラジオを受信するときは AM に、FMラジオを受信するときは FM にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

● ▶▶|（上側）：1 ステップずつ上がる
|◀◀（下側）：1 ステップずつ下がる
（1ステップ：AM 9kHz、FM 0.1MHz ）

自動で選ぶ

1 ▶▶| 、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● 放送局の記憶は**「放送局を記憶する」**（次ページ）を参照してください。

お知らせ

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは AUTO.P 、または エリア（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 ◀機能 にタッチします。

2 機能スイッチ表示画面で、AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピピッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 AUTO.P にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

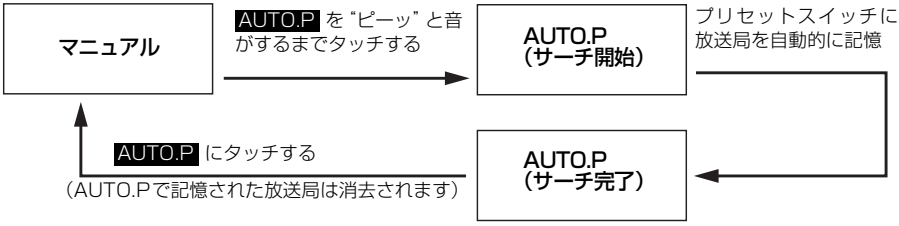
お知らせ

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

AUTO.P について

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



エリアスイッチについて

1 ◀機能 にタッチします。

2 エリア にタッチします。

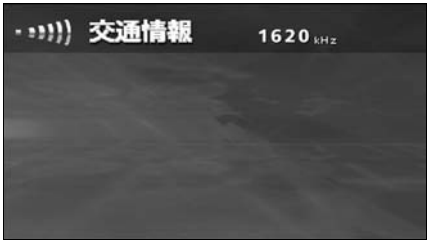
- “AREA.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 エリア にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

ラジオの使い方

交通情報を受信する

1 を押します。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。
- もう一度 を押すと交通情報画面は解除されます。



周波数を記憶させる

1 AM にタッチします。

2 通常の選局、または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 を“ピーッ”と音がするまで押します。

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 ◀機能 にタッチします。

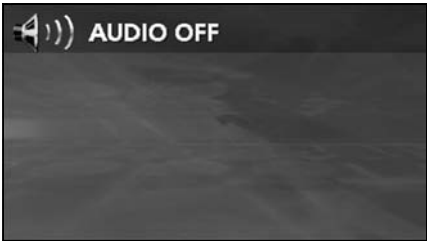
2 局名 にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

ラジオを止める

1 を押します。

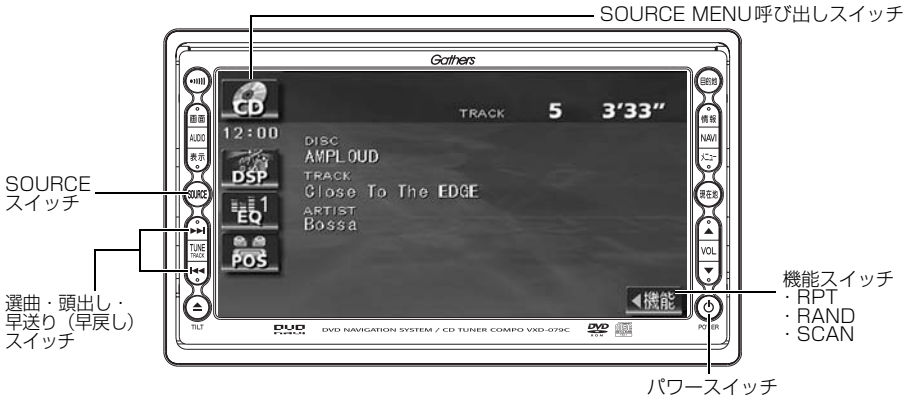
- もう一度 を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



お知らせ

- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定時は1620kHzにセットしてあります。
- バッテリーなどを交換したときは1620kHzに戻ります。

CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。（詳しくは**「取扱説明書クイックガイド編」-「ディスクの出し入れ」**を参照してください。）

1 CDが差し込まれているときに SOURCE を押す、または SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 CD にタッチします。

● 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▶▶| 、または |◀◀ を押します。

● ▶▶| （上側）：次曲を選ぶとき
|◀◀ （下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

お知らせ

● CD-TEXT など、タイトル情報（タイトルや曲名など）が記録されているときは表示することができます。
表示文字数は半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字です。
収録タイトル文字数の多いCD-TEXTでは表示できない場合があります。
● CD-R/RWのCD-TEXTは表示できない場合があります。

CD プレーヤーの使い方

早送り･早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ▶▶| （上側）：曲を進めるとき
|◀◀ （下側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

1 ◀機能 にタッチします 。

2 SCAN にタッチします 。

● 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 ◀機能 にタッチします 。

2 RPT にタッチします。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 ◀機能 にタッチします 。

2 RAND にタッチします。

● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
● 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので､同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 ⏻ を押します。

● もう一度 ⏻ を押すと再生が再開されます。

TVの使い方

エンジンスイッチがII（ON）、またはI（ACC）で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0km/h）した場合のみTVをご覧になることができます。（走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。）

お知らせ

● 本機のTVは、地上アナログ放送の受信ができます。地上デジタル放送の受信はできません。
＜地上デジタル放送とは＞
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

● 地上デジタル放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部の地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。
そのため、以下の現象が起こる可能性があります。
- 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
- 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。

また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。
- チャンネルと放送局名が一致しない。
- プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
- プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。

このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。
これらの場合は、AUTO.Pスイッチ（45 ページ）や選局スイッチ（次ページ）でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

TV の使い方

TVを見る

1 SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 TV にタッチします。

- TV画面になります。
- 表示 を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 ▶▶| 、|◀◀ を押す 、または ∧ 、∨ にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

▶▶| ∧ （上側）：
チャンネルUP（大きくなる）

|◀◀ ∨ （下側）：
チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

1 ▶▶| 、|◀◀ を“ピッ”と音がするまで押す、または ∧ 、∨ に、“ピッ”と音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は**「チャンネルを記憶する」**下記を参照してください。

2 決定 にタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- “AUTO.P”が表示されているときは AUTO.P にタッチし、“AREA.P”が表示されているときは ◀機能 にタッチして エリア （46 ページ参照）にタッチすると、AUTO.P または AREA.P からマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。 プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

お知らせ

TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
表示 を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピピッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度、AUTO.P にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

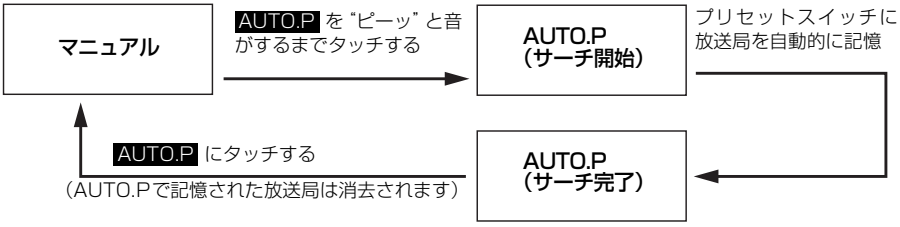
AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。
ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。
AUTO.P動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



お知らせ

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に８局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが８局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TV の使い方

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
  - ・エリアプリセット
  - ・音声多重放送の切り替え
  - ・画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 設定 にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- 戻る にタッチするとTV操作画面にもどります。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 ◀機能 にタッチします。

2 エリア にタッチします。

- “AREA.P”の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 エリア にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

お知らせ

TV 設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV 画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 機能 にタッチします。

2 局名 にタッチします。

● 重複した放送局名が切り替わります。

音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 機能 にタッチします。

2 主/副 をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主/副音声 MAIN/SUB

TVモードを終わる

1 ⏻ を押します。

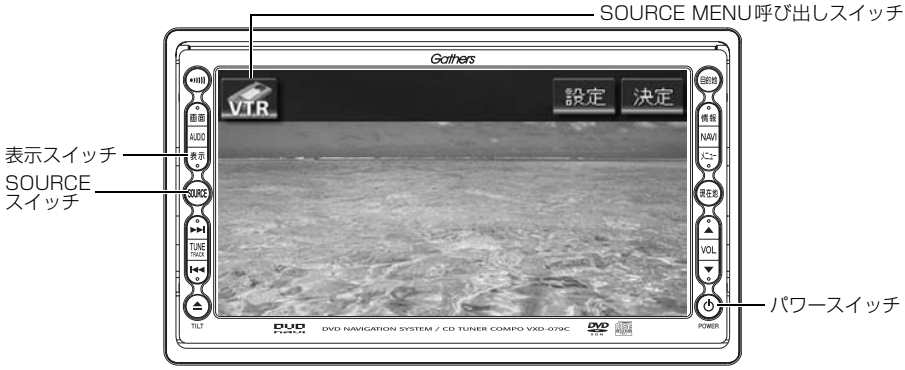
● もう一度 ⏻ を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（映像画面中にOFFした場合は、音声のみ）されます。

お知らせ

● 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
● 2ヶ国語放送を受信したときは、 ⊟ が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがII（ON）またはI（ACC）で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0km/h）した場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。）VTR機器を接続する場合は、販売店で「VTRコード」をお買い求めください。



VTRを見る

1 SOURCE を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

2 VTR にタッチします。

- VTR画面になります。
- 表示 を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRモードでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え

1 設定 にタッチします。

- 戻る にタッチするとVTR操作画面にもどります。

VTRモードを終わる

1 ⏻ を押します。

- もう一度 ⏻ を押すと再生が再開（映像画面中にOFFした場合は、音声のみ）されます。

お知らせ

- VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
  表示 を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
再生できるディスクが入っていません	再生可能なディスクがスロットに入っていないため。	再生可能な音楽ディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にTVを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。

※　イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。
処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症　状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「I（ACC）」または「II（ON）」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCDをイジェクトしてから、お好みのCDを入れてください。

知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処置
CDを入れて、CLOSEボタンを押したが、ディスプレイがクローズしない	CDの挿入が完了する前にCLOSEボタンを押した。	挟み込み防止のため、CLOSEボタンは反応しますが機能しません。再度CLOSEボタンを押してください。またこの場合、オートクローズ機能はキャンセルされます。
CDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（16ページ参照）
	CDに大きなキズやソリがある。	他のCDを入れてください。
	CDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（17ページ参照）
	CDが裏返しになっている。	CDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCDが挿入されている。	対応しているCDを挿入してください。（16ページ参照）
アーティスト名などが表示されない	第3水準の漢字が含まれている情報である。	第3水準以外の漢字をご使用ください。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	現在地 を押してください。（31ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない（停車中）	車両が停止（車両速度が0km/h）していない。	車両を完全に停止（車両速度が0km/h）してください。
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「I（ACC）」または「II（ON）」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	TV にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか。 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

用語説明

スーパーオーディオCD（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

●シングルレイヤーディスク
　HD層※が１層のみのディスク
●デュアルレイヤーディスク
　HD層※が２層のみのディスク
●ハイブリッドレイヤーディスク
　HD層※とCD層※合わさった２層のディスク
※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
　CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを１枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第１セッションには音楽データトラックを記録し、第２セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第２セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを１枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第１トラックにはPCデータトラックを記録し、第２トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第１トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第１セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

コピーコントロールCD
レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。
コピーコントロールCD 、レーベルゲートCD には下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

COPY CONTROL CD　　コピーコントロールCD

MEMO

MEMO

MEMO

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8丁目18番4号
製造元　富士通テン株式会社　〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

PART NO. 08A40-9J0-4200-8B
090002-2944A700 0607C（N）